

2035 年に向けた新たな GHG 削減目標を策定 ～「1.5℃目標」として SBT 認定を取得～

セコム株式会社(本社：東京都渋谷区、社長：吉田保幸)は、新たに策定したセコムグループ温室効果ガス(GHG)削減目標について、国際的な気候変動イニシアチブである SBTi (Science Based Targets initiative) から、科学的根拠に基づいた削減目標であると認められ、2026年5月11日に SBT 認定を取得しました。

従来の削減目標は、2021年に「世界の平均気温上昇を産業革命以前と比較して2℃を十分に下回る水準(Well-Below 2℃)」として策定し、SBT 認定を取得しましたが、このたび新たに、より高い水準である「1.5℃目標」に整合した削減目標として SBT 認定を取得しました。



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

新たな目標として、スコープ1+2は、“2035年度までに2018年度比で75%削減する”
スコープ3については、“2035年までに2018年度比45%削減する”を掲げています。

再生可能エネルギーの利用拡大や電動車両の導入推進などを通じて、これらの目標達成に向けた取り組みを積極的に進めてまいります。

セコムはこれからも、取引先をはじめとするステークホルダーの皆様と協力しながら、脱炭素社会の実現と持続可能な社会づくりに貢献していきます。

< 「1.5℃目標」として SBTi に認定された温室効果ガス削減目標 >

中期削減目標

- ・スコープ1+2 : 2035年度までに温室効果ガス排出を2018年度比で75%削減する
- ・スコープ3 : 2035年度までに温室効果ガス排出を2018年度比で45%削減する

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

セコム株式会社 コーポレート広報部

TEL : 03-5775-8210 E-mail : press@secom.co.jp

(参考)

■ SBT (Science Based Targets)

CDP、UNGC (国連グローバル・コンパクト)、WRI (世界資源研究所)、WWF (世界自然保護基金) などが設立した国際的な気候変動イニシアチブである SBTi (Science Based Targets initiative) が、企業の温室効果ガス排出削減目標について、パリ協定の目標と整合する科学的根拠に基づいたものであるかを評価・認定する仕組み。

■ スコープ 1, 2, 3

スコープ 1 : 自社での燃料使用による温室効果ガスの直接排出量。

スコープ 2 : 自社が購入した電力、熱の使用による温室効果ガスの間接排出量。

スコープ 3 : 自社のサプライチェーン全体で排出される温室効果ガスの間接排出量 (スコープ 1, 2 以外)。

■ 報道資料 : セコムグループが「SBT」認定を取得し、「RE100」に加盟 (2021 年 7 月 15 日)

https://www.secom.co.jp/corporate/release/2021/nr_20210715.html